京城日報　朝刊　本日朝夕刊共八頁

敵機四百卅四を撃破

ニューギニヤ ソロモン島等 海鷲、五ヶ月餘の戰果

【大本營發表】（二十四日午後三時三十分）帝國海軍航空部隊は一月二日以來ニューギニヤ島、ソロモン諸島および濠洲北端ボーン島方面敵航空基地に對する攻撃ならびに味方基地上空における交戰により七月二十日までに敵機三百二十五機を撃墜、百九機を撃破せり、この間わが方五十四機を失へり

反撃企圖を粉碎

濠洲、我鋭鋒に慴伏す

【東京電話】帝國海軍航空部隊が大東亞海全域を制壓して以來米英が最後と頼む唯一の前進基地ポートモレスビー、ボーン島などに不斷の猛攻撃を加へつゝあるが、一月二日以來七月二十日まで七十四回にわたる襲撃によりわが海鷲があげた戰果は空中戰において三百二十五機、地上において百九機計四百三十四機の多數を撃墜破して敵がわづかに企圖した反撃態勢を木端微塵に粉碎した、しかも以上の數字はポートダーウイン、ウインダム、ダービーなど濠洲本土各基地攻撃の分を除外したものであり、さらにこれら本土攻撃の戰果機數を加ふれば敵濠洲がうけた損害は蓋し想像に餘りあるものがある、わが海鷲の必殺戰法の好餌となつた敵機種の主なるものをあげれば戰鬪機としてはカーチスピー四〇、エアコブラピー三九、爆撃機としてはコンソリデーテツドピー二四、ノースアメリカンピー二五、マーチンビー二六、ロツキードその他、コンソリデーテツドピー・ビー・ワイ、超重爆ボーイングビー一七でいづれも米國機のみが數へられ、曾て濠洲の空をわがもののやうにふるまつてゐた英國機が全く慴伏して片影だに見せざるところから見るも米國增援機のみを頼りとする敵末期濠洲の抗戰樣相が如實に現れてゐる、同期間内における主なる攻撃戰果（十機以上のもの）左の如し

攻撃月日	攻撃個所	撃墜	撃破
三月十四日	ボーン島	九	一三
四月廿四日	モレスビー	九	一
四月廿五日	同	六	一八
五月九日	同	九	一八
五月廿七日	同	一〇	―
五月廿八日	同	一三	―
六月一日	同	一一	―
六月十六日	同	一九	―
六月廿五日	同	一一	―
七月四日	同	一二	二
七月五日	同	―	一七

印度洋を壓す海鷲堂々の編隊　日野海軍報道班員撮影（海軍省許可濟第五七一號）

獨軍、ロストフに突入

同市北部を占領す

【ビシー廿三日同盟】アバス通信前線よりの報道によれば獨軍はロストフ市に突入、同市北部を占領した、たゞし獨ソ兩軍當局の右に關する確報は未だない

來月上旬までに決定的段階へ

獨軍の攻撃に四重點

【ベルリン廿三日同盟】對ソ戰はボロネジ、スターリングラード、ロストフを連ねる三角地帶で今や全面的に激戰を展開してゐるが、この戰線の決戰は目睫の間に迫つてゐる、目下攻防の重點になつてゐるのは次の四點である、第一は最左翼のコーカサス防衞據點として最も重要なロストフ陣地だが、獨軍はすでにこれを三方面より包圍し廿二日市の外郭の要塞線を奪取した、赤軍はロストフの西と北に對してはセバストポリと同樣要塞と地雷で強固な陣地を固めあげてゐたが、獨軍が豫想に反し東から進撃して來たゝめ忽ち崩壞したもので、これは陣地の正面攻略を避けるヒトラー作戰の定石と見られる、タガンログ方面に取り殘された赤軍は活路を開くため目下必死になつて退却中だが、ドン河の橋梁は獨空軍のため全部破壞されたのでこの方面一帶の赤軍はダンケルク戰同樣の混亂狀態に陷つてゐる

第二の重點はロストフ以東のドン河の線で獨軍はすでに數ケ所でこれを突破南進を續けてゐる、第三點はスターリングラード正面の戰線だがボルガ河はモスコー方面の輸送路としてこれを失ふことは死活の重大影響があるので赤軍は防禦の新重點をこの方面に置き目下激戰を展開してゐる、第四の重點はボロネジ附近にあり、赤軍は北から反撃を加へ獨軍のコーカサス南進を牽制せんとしてゐるが、獨軍は陣地を死守、市内およびドン河と

獨伊軍、日に強化

埃及戰線、順調に進展

【ベルリン二十三日同盟】英軍はエル・アラメイン戰線で廿一日來戰車集團を先頭に大反撃を繰返してゐたが、獨伊軍は廿二日までに戰車百三十一、捕虜千名の戰果を擧げて英軍を撃破した、英側では攻勢をとつてゐるのは英軍であると主張してゐるが、獨軍當局ではエル・アラメインに停止することは獨軍の最初からの計畫であり、攻勢のイニシアテイブは依然としてロメル將軍の手中にある、北アフリカ戰線の戰況が頗る進展してゐることを裏書きし戰局の發展は一に後方輸送にかゝつてゐるが獨伊はクレタ島からの空中輸送で兵員を續々送つてをり、獨伊軍は日一日と強化されてゐる

濠洲、危機去らず

英本國へ躍起の泣言

【チユーリツヒ二十三日同盟】メルボルン來電によれば濠洲ーチン、ニユージランド首相フレーザーは二十三日西南太平洋司令官マツカーサーと會見協議し急遽會合となつたものである、ここ數日來、濠洲各紙も獨ソ戰局の危機を説き、濠洲政府スポークスマンは次の如く報じてゐる

赤軍、ノボチエルカスク撤退

蠢動の敵蹂躙

安陸方面、猛攻の火蓋

【漢口廿四日同盟】安陸方面のわが第一線警備地區全面に出撃を企圖して蠢動をつゞけてゐた敵第四十一路軍第百二十一、第百二十四の兩師に對し廿三日拂曉より猛攻の火蓋を切つたわが〇〇部隊は同日正午早くも長崗店（安陸北方十五キロ）客店坡（安陸西北方十五キロ）などの敵各第一線據點を蹂躙、潰走する敵を追つて三方面にわたつて酷熱をものともせず猛進撃中である

【漢口二十四日同盟】湖北省荊山前面の宗家鎭（荊山東北方八キロ）附近に侵入した敵第二十七、二十五の二ケ師および遊撃隊約三千に對し二十一日拂曉東西南三方面より包圍攻撃を開始したが、軍は二十二日宗家鎭北方十キロ附近でこれを完全に包圍、殲滅的打撃を與へ北方へ潰走せしめた、戰果左の通り

遺棄死體一三五、鹵獲品重機五、小銃八五

“無制限努力なくば聯合國、生活の危機”

ハル長官、自嘲的慨歎

【リスボン二十三日同盟】ワシントン來電によれば米國務長官ハルは廿三日夜ワシントンより全米に向け放送演説を行ひ現在の米國の敗戰は米國はじめ民主主義諸國が自國の利益追求にのみ沒頭して戰備を怠つた結果であると自嘲的に慨歎するとともに米國民がこの際奮起するやう要望した、要旨次の通り

一、地球上到る處に現在進行してゐる戰爭は一國と一國との戰爭でもなければそれは局地的戰爭の連續ですらない、この戰爭は國民一人一人にとつて生か死かの鬪爭である

一、史上しばしば自由を戰ひとり自由のもたらす貴重な特權の獲得に人々がやがて自由を守る警戒を解き心に弛みが生じて自由を當然のもののやうに思ひ始める例がみられる、これらの人々はさまざまなことに耽溺し自由に對する新しい脅威の出現に氣付かない、從つて油斷のうちに奇襲をうけ攻撃されて初めて自分らが何の用意もなかつたことを悟るのである

一、歷史に數多きこの脅威の前に米國とその聯合國は攻撃をうけ現在必死の戰爭を餘儀なくされてゐる

一、前大戰後米國をも含めて多數の國々があまりにも自國の追求に沒頭して集團安全保障制度を犧牲にしあらゆる國に平等の機會を與へることを怠つた、かくて各國間に政治的猜疑、軍備擴張競爭が芽生えたちまち擴つたが、われわれの一部分はその原因たる不公正に目だつた、經濟的國家主義によつて世界恐慌が起り諸國はいた、無秩序と破局に乘じて侵略努力が現れ全世界下に暗い影が射すに至つた

一、平和に對する脅威の抵抗を示された最初の瞬間から米國は法律と正義、不干涉、不侵略、國際協力の強固な基礎の上に平和を促進する方面に向つて努力した、戰鬪が開始され宣戰されるや米國自身が戰爭に捲き込まれぬやうになつた、しかし米國をはじめ全西半球が戰禍から免れ得ないことが明からとなつたるために聯合國民の國各自はその生活と生命すらも犧牲にする覺悟をせねばならぬ

ソ聯驅逐艦土領に避難

【イスタンブール二十三日同盟】セバストポリの防衞に任じてゐた驅逐艦一隻は最近ロストフ救援のためケルチ海峽を通過せんとして獨空軍の猛爆を受け大損傷を蒙り、同港に引返して來たものである、トルコ港トラペズンドに避難し來り直ちに武裝解除され乘組員は抑留された

對獨和平せよ　英議會に建議

首相、周佛海氏要談

社説　建設の布陣成る

大東亞建設審議會は廿三日の第五回總會において鑛工業電力建設基本方策並に金融財政及び交易基本方策の二答申を決定したのを最後に政府より諮問された大東亞建設に關する八ツの諮問案全部に對する答申を決定し、一應その使命を完了した。大東亞建設に關する帝國の根本國策な去る通常議會において初めて東條首相、鈴木企畫院總裁によつて闡明せられたのであるが、これに基いて大東亞建設審議會が去る二月廿七日第一回總會を開いてより、こゝに僅か五ケ月、大東亞建設に關する不動の基本方策に方針が凡ゆる部門に亙つてともかくも確立したことは何よりもまづその審議の迅速であつたことを喜ぶものであつて、審議會委員の眞摯なる精勵振りに敬意を表するものである。

二

その一つ一つの建設基本方策は何れも大東亞新秩序の建設といふ建前にして、深遠なる帝國の經綸の骨格となるものであつて、八紘一宇の大理念に基いて構想されたものであることはいふまでもないが、從つてその建設の方向があくまで日本帝國を中核とし、日滿華經濟をその外包的同心圓として組みたてられたことも極めて當然の方策である。かくてこれらの基本方策が實行に移される場合、南方圈の經濟建設の指導方針はあくまで日滿華經濟の新編成を中心として運用されねばならず、それは一應南方民族のための南方經濟圈の建設であるとしても、その建設の成果は同時に日滿華を一體となす自主的國防經濟の建設に役立つものでなければならない。卽ち南方圈は帝國にとつて、又日滿華にとつて常に培養經濟圏であることを忘れてはなるまい。

三

而して、これらの基本方策の實行に當つては百年の大計として、これを徐ろに實行に移すべき根本的計畫と、戰爭遂行のため直ちに實行すべき臨時計畫とを明確にして運營すべきであらう。その何れにおいても、せる方法によつて遂行すべきは勿論であらう。……

印度西北國境に暴動の機運濃化す

英、警官七千を派遣

【ベルリン二十三日同盟】デーエヌベー通信によればガンヂー翁を最高指導者とする國民會議派の反英運動の急激な展開に伴ひ從來から反英實行動派の策源地として知られる印度西北國境地帶の情勢は俄然不穩の氣配を帶び來り暴動勃發を察知した西北國境州警察部長は印度政廳に對し急遽警官隊の增派を要求しその結果警官七千名がニユーデリーから同方面に急派されることになつた、印度政廳はさらに小銃十三萬五千挺を西北國境地方に急送する豫定でそのうち一萬挺を地方部隊のうち親英的と目されてゐるもの人間に配給、萬一の場合に備へる方針である

回教徒でも近く總會

【リスボン二十三日同盟】全印回教徒聯盟運用委員會はさきに全印國民會議派運用委員會のワルダ決議によつて生じた新事態を檢討するため近く會議を開催することとなつた、右に關し回教徒聯盟總裁ジンナーは左の如く述べた

印度から英政治勢力の卽時撤退を求めた國民會議派の決定は容易ならぬ事態を惹き起しつゝある、この際全印の回教徒は愼重に行動して回教徒聯盟委員會の決定を待たんことを切望する

空の軍神陣中日記【下】

大東亞戰爭篇

[illegible]建夫少將が大東亞戰爭勃發以來印度洋[illegible]偉勲を樹てた――その戰塵に明け暮れ[illegible]は崇高な『親の愛』にも似るある『武[illegible]跡を偲ばう

全軍皆哭く"將の情"
損失の前に武勲も忘る、

昭和十六年

[illegible]二時間の制空掩護を感ずる所あるも、戰勝の重大なる大几本作戰中これに比すべきものなかるべく、たゞ敢行あるのみ、歸途サイゴンに至り諸隊重爆に任じくれる大西君と詳細打合す、重爆と心中する決意、隊員に夜間飛行を實施せしむ（中略）中隊長明日の出動に隨行を切望し來るも論して翻意せしむ、亦止むなし

十二月七日＝朝來天候概ね安定し豫定の如く高木部隊は着々船團の掩護を實施中、就中パンジヤン島沖にて飛行艇擊墜の快報を聞きしは愉快、高橋中尉も出發の直前同行を熱願してやまず心機を察し同意し編組を〇編隊に改む（中略）十七時半過出發、十九時十分船團主力の上空に達す、全機豫定の如く航行『山下奉文しつかり戰へ』と思はず叫ぶの力強さと戰勝完遂の決意を稀ゆるものあり、五十乃至二百米の高度を以て制空、廿時稍薄暮につく、全くの夜間となりかつ雲次第に低く五十米乃至百五十米を以て續行す、幸ひにして大なるスコールなくパンジヤン島の目標を發見せる時は歡喜例へんにものなし

[illegible]たりと、嗚呼萬事休す、高橋を待つや切、一時迄待機せるも遂に姿を現さず、明日の出動準備に移る、本日の出動者疲勞その極に達せしを以て明日の出動を中止せしむ＝船團掩護の如何に困難な仕事であつたかが簡明に綴られてゐる＝

十二月八日＝約二時間の假睡にて月光をいただ[illegible]

加藤少將の遺品＝陸軍省検閲濟

十二月九日＝十時卅分フコク島上陸にて重爆隊と集合一路ケダー地區攻擊に前進す、積亂雲に阻まれて逐次進路を西北方に、ついで北方に轉じ進むこと約一時間半、タイランド灣の北部中央に出で遂に反航して歸路につくもの、如く第二擊無爲に了る、無念やる瀬なく獨斷獨力攻擊に轉ず、〇〇附近に出で何れかにて燃料補給後攻擊すべく逐次海岸線に沿ひ南下バンドン飛行場を探ねたるも水深大にして飛行場らしきものなくナコン亦賴むに足らざるを想ひ、遙かに眺めつゝシンゴラに着陸す、地點極めて惡く二機破損、高山中尉危く命を全うす、參謀長に會ひ爾後ナコンにて作戰に就く旨強調し、暗々裡に承認を受く極めて困難なる補給を遂行し、一意任務に突進すべく十七時三十分出發、ペナンを次でアエルタワルを攻擊、六機炎上數機破壞の戰果を得、豫定の如くナコンに着陸す、地上整備の爲井上部隊あり、大いに意を强うし此地に居据るに決し、夫々電報諒解を求むる所あり南京虫に惱まされつつも海を渡るの苦心を想ひ一同滿足す

[illegible]一同を集めて空中戰に關し所見を述ぶる所あり

十二月廿五日＝十一時半豫定の如く上空にて北島、小川の戰鬪隊と集合、爆擊隊の周圍を取り卷く如く航行す、小川部隊稍離隔せるため氣に懸かること大、豫定の如く北島部隊爆擊せるを以て一安心せるも小川部隊稍遲れたるを案じ、これに續行せるも、部隊主力戰鬪に加入し爆擊隊と同行せるものなく戰機全速力にて退及、二、三の敵機を擊攘する等不安を感じつゝ小川部隊と同行す、全機異狀なく悠々と歸路につきあるを認め、先づ安心せるも北島部隊如何と安じ着陸せるに第〇第〇中隊の戰闘意圖に反すること大、而も奥村、若山歸還せず、北島部隊また三機自爆、一機不時着と聞き無念やる方なく、訓練不充分なるを後悔するや甚だしく北島部隊長にお詫びせり、不愉快にして實を感ずるの一日を送る

＝損失の前に武勲を忘る、げに眞個の武人ならずや＝

十二月卅一日＝正月の飾り、御馳走の準備に酒桑を呈す、椰子と南竹の門飾りは中々風情あり、支那人コツクを雇ひ支那料理にて夜半まで久し振りに飲む除夜の鐘聞き得ざるも、嬉々[illegible]

[illegible]十二月二十二日＝夜半命令あり、山下兵團の作戰協力の爲アロルスターに夕刻迄に前進しクアラカンサール附近爆擊の制空に任ずべく、シンガポール偵察を變更し、十時迄に準備を完了せしむる爲の準備命令を出す

八時中隊長を起し企圖を示すと共にクアラ・ルンプール攻擊の決意を示す、十時三十分出發第〇中隊支援の意圖を明示し雲上四千をもつて直路クアラ・ルンプールに進攻す、南側地區より太陽を背にして進入するに飛行場敵機なし、亦空擊かと思ふ瞬間下方に『バツフアロー』を認む、第〇中隊と交戰中にして態勢概ね有利なり、直ちに第〇中隊に支援を命ず、上空に敵機なく敵は斷雲を利用して逃避を試むるのみ、約十分にして大勢を決せるも低空にて単機行動せるもの二、三あり、不安を感じつゝ集合を命ずるに集合せざるもの六機、歸路はイポー上空を避けアエルタワルに歸還す、直ちに戰況を聞くに高山中尉三機擊墜直後壯烈なる戰死を遂ぐと

昭和十七年

ばうどん等にて氣分出で戰地として上出來なり

一月一日＝戰場に明けし二千六百二年の元旦を迎へ感激に堪へず、皇國興隆の使命を双肩に擔ふ赤男兒の本懷、八時半より飛行場にて一同と共に聖壽の萬歲を三唱す、終つて司令部一隅にて航空將校一同會食して野戰を設く、杉浦少佐來り一泊す、久し振りに家郷に手紙を認む

一月十二日＝待望のシンガポール第一擊の日來る、天氣も申分なく着々準備しありしも、攻擊日決定の電報なく獨力攻擊に決し逐次離陸す部隊離陸せるもの既に半、時に本日攻擊中止の電あり、如何でか中止し得んや、決然機上の人となる、飛行場上空近くにて重爆に會し稍不安を感ぜしも先の電報誤りなるを知り同行す、戰場上を直路ジョホール正面に進入す、シンガポール島は快晴にしてテンガ、センパワンを初めシンガポール市飛行場一目瞭然たり、爆擊隊の稍後方よりピアイ角近くまで同行しテンガに反航す下方稍前に一、二機敵機を見るも大なるものなく青木部隊に一部のみ交戰するもの、如く、十時半集合して歸還す、中尾部隊ブレンハイム一機擊墜せるのみ、廣瀬に給油も終り再び出動す、好機この時と貯り力みしも敵機と遭遇せず重爆亦雲上より掩護爆擊を行ひしもの、如く成果期し難く、折角その意見具申採用になりしも不首尾に終る

＝勇みに勇んだシンガポール第一擊『如何でか中止し得んや！』の意氣烈々＝

一連射忽ち撃墜
シ港上空ハリケンと闘ふ

一月十三日＝專ら中空に敵を索めしも敵なく僅かに爆擊の空域にバツフアロー數機と遭遇しその四機を擊滅す、海軍及び青木部隊は天候不良にて出動せず

一月廿日＝爆擊時制空しあるに海上低空は二機の旋回中を目擊、反航接敵するや前方に五機編隊を發見、一寸爆擊機飛行機と思ひ第一擊徹底を缺く、久し振りに見るハリケンなり、一撃射にて見事に發火す、完全なる奇襲なりしもその後の戰鬪拙にして戰果比較的小なり、八田中尉戰死す、注意を與ふ

一月廿七日＝武田、杉浦部隊はエンダウ附近船團掩護に當り六十機の來襲に遭ひ大戰果を擧げしものの如く、戰鬪隊の氣を擧げたるものというべく愉快

二月六日　夜半パレンバン敵五十數機在地なるを以て攻擊すべく命ぜられ、少々面喰ふ、早朝出發、各部隊も前進せしめ準備を命ずる所あり、奥德君、中田君達の輸送機の協力を受け地上勤務員を移動す、クルアンに飛り本日の攻擊と中尾部隊と合し出發せんとせしも空中集合不能にて直かに瀬戸部隊と同行攻擊す、飛行場近くに關し種々打合せを行ひ十五時卅分出發、瀨爆方四十キロ附近に到るも天候不良にて爆擊は困難なりしを以て例の如く獨力攻擊すべく、雲下五下を敢行するの意圖見えしも遂に引返す、無念十米にて一路前進飛行場東側地區迄達したるも地面迄垂下せる密雲に阻まれ進入し得ず、南方パレンバン市方向よりと迂回を企圖せしも不可、再び雲臨に沿ひ北上雲下を飛ぶに滑走路の一部を發見、直ちに攻擊下令突進す、飛行機充滿しあるも雲低くして突進の餘裕なく、無念なりしも二機にて斷念せり、中尾部隊は稍二十分遲れて進入せるに東側の雲は西方に移り、飛行場上空にて戰鬪を惹起せりと、攻擊時刻の早かりしを惜むや切　（完）

汎米離脱に報復
米、亞國船を沒收す
亞國民衆、極度に憤激

【ブエノスアイレス廿三日同盟】アルゼンチン外相ルイスギニアスが廿二日下院の外交演說において汎米ブロツクとの絕緣を宣言し拒から米政府のアルゼンチン油槽船沒收事件が發生しアルゼンチン國民を憤激せしめてゐる、同船は過般損傷をうけたのち米國ドツクで修理中のところ米國政府は同船がもとく米國で造船されたものであり右造船契約中に『米國が必要とする場合は返還する』といふ條項があるのを楯にとつて突如同船沒收の擧に出たもので、恐らくアルゼンチンの米洲ブロツク離脫に對する後報復と見られてゐる、今回の事件について米國政府は一切發表を避けてゐるが、ギニアス外相は二十三日午後新聞記者に對し『事件は重大である、二十四日海相、大統領とも會見する』と說明、アルゼンチン側の強硬態度を示唆し成行は極めて注目されてゐる

キユーバ西國代理公使逮捕

【ブエノスアイレス廿三日同盟】ハバナ（キユーバ）情報によればキユーバの警察當局は廿三日突如キユーバ駐劄スペイン代理公使デ・パイレン伯を逮捕近く同氏を國外退去處分に附することになつたといはれる

一方政府はスペイン向けの食糧輸送を禁止するに至つたが、今回の外交官逮捕問題を繞るキユーバ、スペイン兩國關係將來の動向は極めて重視されてゐる

主要新聞の統合
谷情報局總裁談發表

【東京電話】廿四日の閣議において主要新聞の統合が決定したので午後一時半谷情報局總裁談として これが内容を發表した

時局の要請に基く新聞新體制については昨年末新聞事業令の公布を見、統制團體として日本新聞會を結成、官民協力してその確立を急いでゐたが、政府はこれに基いて去る六月十六日東京、大阪、名古屋、福岡の四大地域における新聞統合に關し關係各新聞社の盡力を求めたところ、各社は欣然としてこれに應じ今日までに大體實施方策の圓滿なる決定を見るに至つた、

右の結果東京においては讀賣新聞と報知新聞と合併し都新聞と國民新聞とは協力して新たに公益法人組織による一新聞社を創始することになつた、名古屋は新愛知と名古屋新聞の兩社合併福岡は福岡日々と九州日報の兩社合併してそれ〳〵新たなる構想と題名をもつて新社を設立する、なほ朝日新聞および大阪毎日新聞社の兩社はそれ〳〵名古屋支社における新聞發行を廢止することゝなつた

以上はいづれも八月中乃至九月早々をもつて實行に移されるものでこの間各新聞社が新聞の公益性にかんがみ多大の犧牲を顧みず進んで國家目的に協力せられたことは誠に同慶の至りであつて深く敬意を表するところである、なほこれよりさき大阪においてはすでに朝日、毎日、大阪新聞の三社となつた、其他の各道府縣においても一縣一新聞の方針をもつて統合が進められこれもすでに大方實現してゐる以上の如く新聞社の整備統合が行はれた結果は新聞は經營の基礎がいよ〳〵強固となり從業員の待遇ならびに質的向上を圖り名實共に國家國民の公器としてあくまで『良き新聞』の製作に邁進し得ることゝなつた次第である、惟ふに大東亞戰下政治經濟關係など國内のあらゆる部門が聖戰目的完遂のため再編成せられつゝある時、輿論指導と啓發宣傳の使命を有する新聞界の新體制が出來たことは斯界の正しき發展と飛躍のため洵に意義深いものがあると信ずる

佛印、全く目覺む
内山公使の東上談

【福岡電話】駐佛印大使府公使内山岩太郎氏は昨年十一月赴任以來約八ケ月ぶりで二十四日午後台北より空路東上したが、福岡小憩中に次の如く語つた

今回の日佛印經濟協定成立に到達するまでには些細の點に就ても相當難點があつたがめでたく妥結をみたことは嬉しい、これは結局佛印側としても日本と協力してゆかねばほかに行く道がないことを自覺した結果だといへる、佛印當局は出來るだけのことはやつてくれたものと思つてゐる、日本としてもこの點については大いに理解と同情を持つべきであらう、日佛印共同防衞成立以來佛印は全面的に日本と協力してゐるが當局者はもちろん一般住民は日本軍の大戰果をみて『日本と協力してゐなかつたら今ごろは食ふに食なく住むに家なき敗殘國民としての慘めな生活を餘儀なくされてゐたであらう』と今さらながらほつとした氣持を抱いてゐるのではなからうか、現在の佛印は治安全く確立し政爭もないし物資は豐富だしこれは最も惠まれた中立國であらう

滿洲建國十周年慶祝武道

【東京電話】滿洲建國十周年慶祝日滿交驩武道大會は八月八日から四日間にわたつて新京特別市で行はれるが滿洲建國十周年慶祝會ではこれ二十四日役員ならびに柔道、弓道、銃劍、相撲各選士百六十九名および日程を發表した、右代表は八月一日午後十時五十五分東京驛發で壯途につくことになつた

▲日程　八月八日柔道、劍道、相撲の型、同九日午前劍道、午後柔道、相撲、同十一日午前銃劍道、弓道、同十一日午前銃劍演武（各武道の型および試合）

團長　藤沼庄平

委員　森田孝、加藤眞一、木村篤太郎、高廣三郎、宇野要三郎、中井武三、加藤高宣

本部員　石田一郎、林田敏貞、馬淵義劍、工藤一三、田中道雄、藤澤正明

劍道
監督　武藤秀三　副監督　深澤文夫　選手　柴田（滿洲國）津崎（武專）乳井（二高）池田（佐賀縣）松本（關學）中倉（皇宮警）中野（東京高師）岡（佐賀縣）佐渡原（皇宮警）占部（東鐵）杉江（京都警）森（皇宮警）小笠原（栃木縣）山形（東鐵）檜田（高松高商）大江（福岡縣）堀（關東配電）根本（三菱海上）香椎（朝鮮）戶井（講談社）筑山（早大）眞貝（關學大）大久保（武專）今井（東京高師）高木（東大）

柔道
監督　石黑敬七　副監督　栗山喜雄　選士　曾根（紡績）古澤（京城警）田中（神奈川警）清水（日鐵）大淵（東京高師）山本（日本特殊鋼）平田（武專）岩井（大阪府警）廣瀬（武專）時實（兵庫縣）曲田（富山縣）杉町（佐賀縣）菊池（滿洲國警）渡邊（江戶川國民學校）藤原（岩手縣）宮田（警視廳）角田（日大）羽島（滿鐵）敷台（日大）吉松（早大）大久保（武專）萱沼（同上）平野（同上）

弓道
監督　川口辰之助　副監督　濱田彌一郎　選士　松井（三井）鈴木（皇宮警）加藤（福岡）松永（滿鐵）沼崎（福島農工銀）中野（茨城）土屋（國士館）光代（福岡縣）三原（京都市役所）辰見（京城）高女）菊池（栃木）清水（大阪府）布施（稱太石炭）森仁（東京警）唐澤（華北交通）水野（愛知）角田（宮城）北村（皇宮警）寺師（名鐵）加藤（東京）小山（三井銀行）松井（早大）菊池（東京帝大）川田（明大）高松（日大）村松（名高商）

銃劍道
監督　森永濟　副監督　增田英雄　選士　久保（佐世保海兵）神山（武專）佐藤（東京府立六中敎）辻（東京中敎）作道（戶山學校）淺野（宮城師）田畑（戶山學校）廣瀨（日大）大垣（戶山學校）今泉（朝鮮法專）佐々木（柏崎中敎）七夕（鹿兒島）宮本（朝鮮中敎）加藤（正則）中敎）有川（川崎市役所）和田（岡山中敎）綾小路（群馬縣）毛呂（千葉）大平（拓大）近藤（明大）肥後（國大）森野（中大）佐川（日大）

相撲
監督　楢明（日大）同　石垣（京城）選士　大垣（明大）藤（立大）布田（拓大）大内（同）竹下（日大）西村（同）平田（同）渡邊（明大）林（同）櫻ケ島（同）千場（專大）丹坂（同）片岡（立大）西本（農大）吉井（法大）御保（中大）板垣（立大）勝大（同）高橋（同）高松（同）榎並（同）井口（關學）中小路（同）栗（同）中村（同）岡本（同）城本（日大）池田（日體）

米英流思想云々

◇……私は齡すでに五十を過ぎた日本人である、併し米英流思想は爪の垢程もない、これは今日の全日本人が老いも若きもその大部分私と同じであると確信する、それなのに、四十、五十以上の人には大なり小なりいはざるの相違で、米英思想が殘存してゐるなどと、自己一人よかりの計畫で忖度した放言をなすものがある、あんなのは今少し慎重でありたい

◇……四十、五十以上の人で、眞に日本維新の理念に透徹し第一線に銃後に活躍してをられる人が如何に多いことであるか、これ等の人をも、自己の足らざる計畫器を振り廻して悉く米英流の思想をもつてをるといふに至りては一億一心を亂すばかりで益はないことである（きよし）

朝鮮 産業經濟の再編成と動向

經濟學博士　田村浩　④

二、諸問題檢討

貿易諸問題

今日における貿易は自由貿易を脫却し、國家計畫に基き綜合的に物動、生擴、資金計畫等によつて行はれつゝあることは貿易の大轉換といはねばならぬ、卽ち戰爭物資の最大限を獲得し軍需と生產擴充を行ひ經濟總力の徹底を期するのである。

即に六月三日の閣議に決定された本年度『貿易計畫』を示すと

1、滿支輸入増につゝて、特に鐵石炭、工業鹽、棉花、羊毛、油脂原料を期待すること

2、佛印タイよりの物資及新南方占領諸地域の特產物資の輸入を確保すること

3、輸出は戰力維持を第一義とし滿支へは前年の實積より大きく佛印タイ及南方へも統治上の要錨を充足せしめ得る見込である

こと

朝鮮貿易が日本貿易に占めてゐる地位は對內地貿易と對滿支貿易について特有なる交易關係を有することである。

試みに十六年の對內地貿易を見るに移出は七億八千萬円で移入は十三億五千萬円である。六億の移入超過となつてゐる。

移出の大なるものはいふまでもなく米である。ついで肥料三千七百萬円、生糸二千八百萬円、魚類二千五百萬円、石炭二千三百萬円、海苔千九百萬円、大豆千百萬円、綿綿九百八十萬円、牛七百八十萬円、ついでパルプ、リンゴ、洋紙、コーンスターチ等が主なるものである。内地移入品は機械類一億五千百萬円を最大として、綿織物は一億近く、人絹六千九百萬円、木材三千五百萬円、肥衣三千百萬円、石炭三千萬円、紙類二千八百萬円、陶磁器千九百萬円、毛織物千七百萬円、釘類九百萬円、肥料九百萬円、砂糖八百八十萬円小麥粉八百萬円、その他雜品雜貨が八億である。本年に入つて上半期の移入は前年に比べて四千六百萬円增加して移入超過は二億六千萬円を示してゐる。

朝鮮經濟は六億の内地よりの移入超過で賄ふべき內地依存性とこれと關聯して產業資本の内地依存が物資交流を檢討することによつて容易に理解されるであらう。現在の朝鮮の產業經濟に投ぜられた資本の大部分は内地資本で土着資本は極めて少い本年當初においては產業と金融を除き内地資本は七四%と觀出され、そのうち日窒系產業資本は三割六分といはる。

このやうに朝鮮は農漁畜產物を內地に移出し、新興工業に必要なる機械類と衣料品等をはじめ需用雜貨の巨額な移入し六億を超過するといふことは注目すべき現象といはねばならぬ。ここにおいて朝鮮經濟の自主性が强調されるが、いたづらに不自然にして不合理なる自給自足は採るべき策でなく、適地適產の立地條件を基礎として躍進すべきである。たゞ戰時下に於ける一般生活必需品の如きは、生產の國防體制の觀點においても積極的對策を企圖すべきであらう特に二億餘の衣料の如きは總督府が指摘した如く纖維工業の維持育成が重要視されるところである。

朝鮮貿易は內地貿易と對滿支貿易と第三國貿易の三つに分ち得る。昭和十四年の統計によれば次の如く示される。

1、對內地貿易額は十九億五千萬円

2、對滿支貿易額は三億五千萬円

3、第三國貿易は六千八百萬円

朝鮮貿易の總額は二十三億で八割餘は對內地貿易を占めてゐる、朝鮮、台灣を除いて日本の外國貿易は六十五億であつたから朝鮮の外國貿易四億三千萬円は全貿易の十五分ノ一となる。

朝鮮の對滿支貿易は對外貿易の八割を占めてゐるので、朝鮮貿易の性格が對內關係と大陸經濟に大なる影響を有するといふ特徵を持つものである。

ここに注意すべきは、すでに『貿易計畫』の具體的內容は決定され、過去の自由經濟時代における貿易內容は參考とはならない。第三國貿易についても東亞共榮圈內の物資交流であつて大東亞自給自足の基本方策の具現を行ふことゝなる。最近わが國と佛印との物資交流の內容が決定され日本輸入物資は數億円を算するのでこれからの外國貿易はいはゆる圈域貿易で計畫的に國家間及新占領地域內に交流されるので從來の貿易觀念によつて律せられないのである。

總額の八割餘
貿易の特徵對內地關係に

朝鮮貿易について次の諸點が考究さるべきである

1、一般生活資料の生產を增强し雜貨雜品の內地依存性を少からしめること

2、適地適產の生產方策により特有生產物を對滿支及南方諸地域へ移輸出し交易の均衡を保つこと

3、農漁畜產の增產を一層大ならしめ內地交易の均衡を保つこと

右は大東亞經濟建設の基本方式に則るものであつて地域的特性の發揮に外ならない

對滿支貿易について特に問題となるのは（一）機構の問題と（二）關稅手續きの簡易化（三）爾支物價高、物資交流の調整問題（三）物資交流計畫の具現化等が中心となつてゐる

貿易機構については、內地において重要產業團體令による『貿易統制會』が組織され計畫貿易で發足することゝなり、これに伴ふ貿易業の再編成が行はれつゝある。卽ち貿易統制の過渡期的施設であつた、既設の十二貿易會社と輸出組合は統合されれ『東亞輸出』と『南方貿易會』は發展的解消し、日本貿易株式會社の設立となつた

朝鮮は內地の統制會に加入せず『朝鮮東亞貿易會社』と『朝鮮貿易振興會社』が十六年四月に新設され、貿易計畫にもとづく運營を行ひつゝある。滿洲にあつては複雜なる機構を一元的に統合し十六年八月『貿易聯合會』『輸入聯盟』は解散し『滿洲貿易聯合會』が設立された。華北にあつても輸出入機構は一元的に統合され『貿易聯』が結成された。かくして十六年以來問題となつてゐた貿易機構の一元的統制が一應整備されたのは日滿華の經濟建設のため慶賀に堪へないはねばならぬ。

日滿華の物資交流の連絡協議會はいはゆる『大陸會議』として十七年に入つて四月十日大連で開かれた日滿華聯絡會議の會議に引續いて各地域で活發に行はれたが、計畫交流として重要指定物資の一部を除いて果して交流は圓滑であらうか。四月に行はれた日滿華經濟協議會議の成果として新聞に次の如く報ぜられてゐた。

1、七月までに朝鮮から以五百萬乃至七百五十萬枚を送り延は餘力なく送出せねこと

2、朝鮮から蔬菜種子五萬七千リツトル輸出すること

3、役牛一萬一千六百八十頭を滿洲へ一千六百頭を關東州へ輸出綿羊も豫定通りとすること

4、朝鮮よりの樹苗滿洲よりの材木は計畫化したこと

5、雜穀は兩者全面的協力のこと

6、朝鮮よりの煙草輸出に付き價及び時期を決定すること

7、物資關係は物動物資外の三十三品の數量を決定し、價格決定のこと

8、鴨綠、豐滿の電力開發について資材、資金の獲得を考究すること、併せて賠償及び水豐の三號機、四號機の使用について協定のこと

本年三月東京で行はれた日滿支貿易會議によつて滿洲の對內地物資は五億五百萬円で前年と殆ど變りはなく、澱粉、干瓢、乾椎茸、ビール、石鹼、ペイント等が縮減され、寒天、化粧品、生果、綿織物、身廻飾品は增送され、要求額が削減されたもので水產物、蔬菜類等が目立しいと報ぜられてゐた。朝滿の物資交流はこの會議の具現化とも見られるものであつた。

關支物價高による貿易阻害は大なる問題であり、その調整は困難なところのものである、日滿華の物價調整を圖るためにいはゆる調整資金と滿洲の經濟平衡資金の制度がある、日本物價より滿洲は二倍北支は三倍といふのが指數からでなく常套語であつたが、最近はその距りは大きく北支五倍といはれてゐる、中支は儲備券十一億元の回收と通用禁止を斷行した、儲備券の統一により物價高騰と物資需給の關節は漸次回復するであらう。

滿洲の經濟平衡資金制度は四月卅日に施行された、その第一條に『經濟部大臣は物價の調整を圖る爲物品の取扱ひを業とするものに對し一定の經濟平衡資金として一定の金額の納付を命じ又は交付を爲すことを得』とある。朝鮮にも調整金の制度は統制會社の新設前から設けられ貿易協會が取扱つてゐた。これは物價平衡に絕對的必要な制度であるが、北支にあつては計畫外の物資については除外される。

稅關手續の簡易化は絕えず叫ばれてゐるが、その改革は今日まで行はれてはゐない。日滿一體の通念によつて一方によつて通關されたものは信賴し合つて二重通關手續を省くこと、書面通過にて或る程度荷ほどきの面倒さを省くといふ意見もある。關稅手續の簡易化は運輸力增强のために兩國關係者によつて急速なる解決を要望してゐるのである。

"汗の職場"慰問
人情總督のひとゝき

◇……赤銅色がぐんぐん昇る二十四日小磯總督は多忙なひと時をさいて龍山の度量衡所と永登浦の燃料選鑛研究所を訪問、汗だくの精進を續ける從業員の勞苦を犒ひ激勵の辭を贈つた

◇……午後二時三十分大野秘書、上瀧殖産局長を隨へて、龍山の殖産局度量衡所に車を横付けた小磯さんは池田所長の案内で一まづ貴賓室に入り、所内の状況について説明を受けたのち、衡器の檢定所を一巡、木製量器、計量器檢査所を初め、化學器の各檢定室を隈なく見學、汗と脂にまみれて勤務する係員の敬禮を制しつゝ

"親切にね"御苦勞さんく……と一々懇ろな犒ひの言葉をへ贈る

◇……やがて強度計檢定室に入つた小磯さんは可愛い手先で、きぱき敏く働しい婦人の姿に微笑を贈りつゝ再び車を驅つて永登浦の燃料選鑛研究所に向つたが此の日の總督は乙號の國民服に長靴の颯然たる姿でお隣の地質調査所にまで視察の歩を延ばして同午後五時三十分引揚げた【寫眞＝永登浦の燃料選鑛研究所視察の小磯總督】

前總督總監に聯盟から贈物

【扶餘電話】前總督南さんと前總監大野さんに總力聯盟から心盡しの記念品として思ひ出の聖地扶餘を描いた螺鈿細工屏風一双宛を贈呈することとなり飽田聯盟氏務總長ならびに京城朝鮮館取締役支配人林炳洙氏は過般現地を視察したが扶餘神宮御神域および内鮮一體發祥の史蹟を探り白馬江を舟行してその風景を取入れて近く製作のうへ前正副總裁に贈ることとなつた

銘酒　忠誠　大邱・用川　長尾釀

炎熱に挑む若人半島
夏休に替る鍛錬
各種錬成大會近づく

大東亞戰はじめて迎へた夏季休暇期、學徒は敢然と起ちあがつて炎暑に挑戰、これまでの夏休みに替る戰勝訓練に、集團勤勞に心身を錬成、血みどろの敢鬪をつゞけるが、學務局では中等學生徒の臨戰行事として全鮮中等學校體育大會を、朝鮮奬學會では第一回内地在學朝鮮學生、朝鮮在學々生の夏季合同錬成會を開いて戰力の增强、皇國臣民の矜持と體力を昂めて夏の錬成期を逞しくかざることとなつた

▲半島學生の夏季錬成會――今年の締上げ豫定である在内地半島出身學生に對して、奬學會ではさる六月十五日から始めた櫃原道場の錬成會を皮切りに、茨城縣立西山道場、群馬縣立東國敬神道場を會場として心身の錬成をつんできたが、さらに來る廿七日から卅一日まで群馬縣立東國敬神道場に五十四名、八月十日から十五日まで關東の學生百名を扶餘中堅青年訓練所に收容して國體本義に透徹めざして内鮮一體の發祥精神を昂揚する

▲第一回内地在學朝鮮學生、朝鮮在學々生夏季合同錬成會―朝鮮奬學會及び朝鮮學校體振が共同主催となり、來る廿八、九の兩日京城運動場、京城武道場兩所に擧行、内鮮ともに專門學校以上の在學者が參加して柔、劍道、陸上競技、相撲、國防競技の五種目に亘へるが會期中は參加者全員が教學研究所に合宿、班組織をもつて修鍊道場式生活を營み、東亞戰下、學徒有爲る學徒をねりあげる

▲全鮮中等學校體育大會――八月十五、六兩日京城運動場及び京城府武道場で擧行、大會前日の十四日夕方から男、女子ともに合宿生活訓練を開始（場所未定）競技の勤と、合宿訓練の行とを併行させて心身を鍛錬することとなつたが競技種目は次の通りである、陸上競技（男女、十六日午前八時京城運動場）籠球（男女、十六日午前八時京城運動場）蹴球運動（男、十六日午前八時京城運動場）柔劍道（男、十五日午前九時京城府武道場）國防競技（男、十六日午前九時京城運動場）籠球（女、十五日午前九時京城運動場）

畫布に仰ぐ御奮戰
閑院若宮殿下へ舊部下が獻畫

【東京電話】勇武の宮様として國民齊しく敬仰申上げる閑院宮春仁王殿下がかつて支那事變勃發初期北支戰線に御活躍遊ばされた當時の御勇戰の御模樣が殿下の舊部下兵達の赤心によつて畫布の上に再現され近く獻上の運びとなつた

閑院若宮殿下には支那事變勃發するや尊き御身をもつて北支に御出征、方面軍參謀として戰線に御活躍遊ばされしばしば殊功を樹てさせられて御凱還、本年三月の論功行賞に際しては功四級の金鵄勳章に浴させられて國民一同殿下の御勇武を欽慕し奉つたのであるがなかにも一入深い感銘を受けたのはかつて親しく殿下の御薫陶を受けた舊部下兵士達からなる『春日會』の會員達であつた、同會では本年二月の會合で殿下御出陣の御勇武を讃へ奉るため殿下御奮戰の御模様を畫布に再現獻上する計畫を進めて御内意を伺つたところ畏くも御嘉納の御沙汰を拜したので、出征中轉戰の地日本畫家もまた中將自身も自ら從軍のアトリエを訪ねて資料を求め、また中將日身も自ら從軍のアトリエを訪ね、資料を提供するなど全力を打込んでの製作に精進した結果遂にこのほど五十號の大作が完成した

殿の御模樣は我軍が昭和十三年二月紀元の佳節を期して河南、山西兩省の大黄河北岸地區に蟠居する蔣介石軍數萬の火蓋を切つた瞬間、殿下が京漢沿線彰德の西側城壁上に立たせられ敵陣を御偵察し給ふ中にも自若として當時の軍司令官香月淸司中將、參謀長飯田祥二郎中將らとともに作戰に關する報告を御聽取されてゐる御英姿である、なほ美術に御造詣深き妃殿下には畫伯の製作の途中に屢々内覽の榮を賜り御注意を與へられたと拜承する

滿洲建國記念
兒童入選作決る

【東京電話】滿洲建國十周年を祝して、日滿少國民から募集した圖畫と綴方四萬點の内から見事に入選し建國記念賞を授與された可愛い子供四名は二十四日永田町の首相官邸に招かれて、東條首相から御褒めの言葉に添へ記念品を贈られた、このよい子供たちは日本側千葉縣國民學校六年生森川徳太郎（一二）現西瀬中學校一年生、熊本市白川國民學校六年生沼田英一（一三）現熊本濟々黌一年生、滿洲國チチハル市齊光國民優級學校高等科一年生張玉貴（一三）奉天市公立城南男子國民優級學校高等科一年生王喆濟（一三）の四君で

一同午後二時總理官邸を來訪、東條さんは嚴めしい顏をくづして私たち日本國民と滿洲國民とは兄弟でありその兄弟である兩國の中でも一番優秀な皆さんが本日手を携へてここにこられたのは何よりも嬉しい、と嬉しく親しく記念品として四本の萬年筆をこれはあなたの分、之は校長先生の分、あとの二本は御両親の分と一人々々に手渡した、終つて一同コーヒーやメロンの御馳走になり記念撮影をして引揚げた

南支戰線を語る
座談會（上）

【廣東廿四日同盟】今次南支作戰に勇戰奮闘したわが渡邊部隊の各兵科別下士官兵代表者の參集を求め戰鬪なほ聞き最前線の〇〇部隊本部で『南支作戰を語る座談會』を催した、下士官兵達の赤裸々な報告や感想は肺腑を打つ眞實性がこもつて聽く者をして襟を正さしめるものがあり南支作戰の特徴を謳つて餘りがなかつた【寫眞＝泥濘を進軍する〇〇部隊渡邊部隊】

逃足の早い敵兵
待ちに待つた進發命令

雲藤中尉　本日の座談會は今次南支作戰に活躍した諸君の敵の苦心談や美談や或は微苦笑風景等特に南支でなくては見られないやうな出來事など各々の兵科の立場から遠慮なく話して頂いてそれを銃後に傳へたいと思ふ、先づ最初に、大東亞戰爭が南方で華々しく展開されたので南支の將兵は脾肉の嘆をかこつてゐたと思ふのだ、そんな雰圍氣の下に行動を開始した今次作戰には全く感慨無量なものがあつたらう、その感想を一つ具體的な例について話して貰ひたい

柳井曹長　私達は幸ひ〇〇作戰に參加したにも拘らずなほ酷そんな感じはとても強いんです、砲を擧げると〇〇の作戰がすんでから兵隊が部隊長殿に『今度自分等は何處に行くのでありますか』と聞きにくるくらゐ張り切つてゐるのです

軍司軍曹　さうです、自分等の隊の兵隊は大抵一度は支那事變に參加してゐるし支那事變から大東亞戰の華々しい舞台に躍り出して、未知の英米の奴等を相手にして見たいとこんな氣持が多分に働いてゐるのです

天晴れ頑張る初年兵

櫻井軍曹　華々しい大東亞戰のニュースを寫眞や新聞や故郷からの便りで知る毎に兵隊は一腕前達が南支でぐずぐずしてゐたんでは南で戰つてゐる戰友に申譯ないぢやないかと嘆くので、いや、もう少し待て貴樣達だつてやる時が必ず來る、それに南支を護ることも重要なんだ、我々の任務があればこそ南の戰友も安んじて戰へる譯なんだぞと慰めてはゐたんです

そこへはからずも今次の作戰が始まつて兵隊の喜び様つたらなかつたんです、例へば雲は暑いので專ら夜行軍でやつて來たんですが福岡と云ふところ迄來た時、初めて作戰に參加したと云ふ兵隊がマラリヤに冒されて、高熱のため起きられなくなつてしまつたんですところが自分でマラリヤと知つたものですから『今日は步けなくとも、明日になればよくなる、自分は今日の日をどんなにか待つてゐたのだ、それを此處に置いて行かれては、南の戰友に又銃後に何んと申譯して良いかわからない、明日になれば必ずよくなつて步くから是非なんとかして一緒に連れて行つてくれ』と泣いて自分に頼むんです、その時は思はず貰ひ泣きをしてしまひました

雲藤中尉　今話が出たが初めて作戰に出て戰死を浴びるといふ兵隊の氣持はどうだらうか、そのところを……

柳井曹長　自分等の隊にも若干そんな兵隊がゐるんですが、御承知のやうに工兵といふものは一人前になるのにはある一定の技術的訓練を必要とするんです、それで實戰等つれて行つても良いが何も出來ないんぢやないか一體どうする氣なんだと聞きます、といや先輩のやる通りにやれば良いでせう、そつくり眞似ますからといふんです（哄笑）といふやうな譯で兎に角連れて來て見ると結構やるんです

金井軍曹　自分の方にもそれに似た様なことがあります、敵が汗市撤退を行つた時のことなんですが人間でさへやつと一人で步く様な悪路を輓馬が一頭足をすべらして深さ一丈もある戰車壕の中へ落ちた

ところがその壕が二段になつてをり、中に泥水がたまつてゐる、敵の彈着は激しく引きあげるのに非常に危險で仕方がなかつた、そこでその馬の持主の兵隊に援護のため一個分隊兵力をさいて残さうと思つたんですが、その兵隊は自分の不注意からこんな不始末をしでかして、部隊の行動を妨げて甚だ申譯がない、必ず自分で始末するからと、たうとう一人で馬を引きあげてしまひました

豪膽！褌一貫で突撃

櫻井軍曹　これは大嶺戰のときの事ですが自分の部隊に柳下宗一といふ上等兵が居りましてこの者が馬に與へる水を山上より山下まで汲みに行つて敵の攻撃を受けたのですが、その時は暑くて褌一本の裸體で居ました、落着いて水囊に水を汲んで跣足で山上まで持つて登りそのまゝの裸身で敵機を『褌づかみ』にして戰勝した擧句そのまゝで軍刀を振り翳り勇敢に突撃を敢行しました

◇◇出席者◇◇　陸軍渡邊芳郎少尉（茨城縣水戸市）正田留次曹長（群馬縣高崎市）軍司直三郎軍曹（茨城縣水戸市）櫻井敏一軍曹（群馬縣碓氷郡安中町）金井新太郎軍曹（群馬縣群馬郡六郷村）柳井益三曹長（群馬縣前橋市）木村榮一軍曹（群馬縣邑樂郡）長岡司郎上等兵（茨城縣真壁郡下館町）『司會者』雲藤浩中尉（軍報道部）（島根縣簸川郡）

親切運動と傳染病豫防
聯盟八月の申合事項

八月の聯盟申合事項が決定した一、お互に親切に致しませう一、傳染病を豫防しませうの二項目、傳染病豫防は今更警告を要しないのだが、何しろ日本一の傳染病都市といふ記錄を持つたことのある京城をはじめ衞生思想の不徹底な街や村の多い半島だ、身の廻りの小さなことに氣をつけてまづ健康を確保しよう、傳染病患者を出してはその愛國班の不名譽であるばかりでなく國家への不忠とも なるのだ、親切にするのは當然なのだがその親切心が次第に薄れて來てゐるといふ、こんなことではいゝのか、何にも無理なことを求めてゐるのではない、店員も事務員も係員もそれぞれが"働く人らしく"應援してくれゝばいゝのだ、爲すべきことが爲されてゐないから苦情が起る、不平が起る、お互ひに感謝し合ふ氣持さへあれば問題は起らない、和やかなうちに潑剌たる氣魄を以てこの大戰爭を何が何でもやり抜くのだ

大東合邦論
東京築地で公演

【東京特電】半島一千萬の青年が徵兵制施行の喜びに沸きたちつゝあるとき、權光利一氏、藥師寺久利氏等をメンバーとして生れた國民演劇研究所『珊瑚座』が旗揚げ公演に韓國併合秘話『大東合邦論』三幕をとり上げ廿三日から六日間築地の國民劇場で公開、帝都の話題を賑はしてゐるが、これは韓國併合の蔭れたる功勞者樽井藤吉及び李容九史實を描いたもので脚本は黑龍會の葛生能久氏が自ら校閲の筆をとり德川夢聲、外崎惠美子等が熱演してゐる

名古屋に似た街並
獨軍突入のロストフとは

【東京電話】ロストフとは―フオン・ボツク元帥は俄然枯葉を卷く進擊を續けてドンバス地帶を制壓、その一部は遂にロストフ市内に突入したと外電は傳へてゐる、危機に瀕したロストフとはどんな所かを昭和十三年オデッサの帝國領事館が閉鎖されるまで四年半此處に勤務しその間數次にわたつてウクライナ、ドンバス、さらにコーカサス一帶を視察現在は外務省調査部第六課にある平田一等書記官に聽く――

ロストフはドンバスの最大都市ですが人口廿二萬、今は廿五、六萬になつてゐませうがドン河に沿つた美しく靜かな田舍町です、ここは避暑地に近いせゐか非常に美しい、今ごろは攝氏卅七、八度もあつて日中は灼けつくやうな暑さです、然し溫度は我國などよりずつと低く夜になると盛夏の暑さをけろりと忘れてしまつたやうな凉しさがくるのでその點ドイツ軍も樂でせう、非常に區劃を整然とした新興都市です、わが國でいへば名古屋をもつと靜かにしたといつた感じの街です、地圖のうへでは海のすぐ傍といふ印象をうけるが海までは相當にある、それに海は遠淺なので港としては價値がなく私が行つた頃は軍事施設はほとんどなかつた、現在でも大したものはないやうでドイツの作戰はむしろロストフが陷ちてから始まるものともいへる方【寫眞＝風光明媚なロストフ地方】

交驩競技選手來鮮

【東京特電】廿八日から五日間京城運動場で催される奬學會學生對學校體育振興會學生の交驩競技會に出場のため朝鮮奬學會では廿四日午後一時から在京學生代表選手四十五名の結團式を行つたが、一行は職長村山主事、谷口主事補等に引率され廿五日東京を出發する

多彩、振袖も混へて
帝室博物館、佛印と古美術交換

【東京電話】東京帝室博物館では交渉中であつたが、このほどその品目も決定近く實現の運びとなつた、帝室博物館から佛印へ行くのは四季花鳥屏風、阿彌陀如來立像をはじめとし能面、刀劍、陶磁器から振袖も混る多彩な三十一點で德川時代の名作が主となつてゐる、遠東學院よりは有名なアンコールトム、アンコールワットの選りのものをはじめ西紀十二世紀のころ全盛を誇つたクメール王朝の繊細たる文化を語る浮彫の彫像破片や陶器など七十一點で、いづれも從來佛印の誇りとして國外不出この寄贈に乘じ南方各地との文化的交流をはかるべくその手はじめとして多數の貴重な資料を有し、東洋關係の最も權威ある研究機關として佛印が世界に誇る遠東學院との間に古美術品の交換を計畫し

全國高校體育大會開く

【東京電話】炎天下全國高校代表が敢鬪の魂をもつて目ざす體力報國の實践、文部省ならびに學徒體育振興會主催の全國高等學校體育大會は廿四日午後三時四十分から明治神宮外苑競技場で行はれた嚴粛な開會式を以て熱戰八日にわたるその幕を切つて落した、式後參加全選手の徒手體操、續いて參加校校旗に移り全校代表選手競技場にコの字型に集合まづ一高選士が起立國旗を中央正面の台上に揭げつゝ『あゝ玉杯に花うけて』の寮歌を高唱して一高、三高の闘魂を胸に秘めつゝ全選士それぞれ高らかに校歌寮歌を歌ひ拔いた、かくて第一日を總でけふからの熱戰を胸に秘めつゝ了いよく廿五日から外苑競技場を中心に十四會場に高校選士の熱戰と喜氣の臨寄熱戰が展開するとなつてゐたものである

平北の神社神祠
道内各地で建立

【新義州電話】國體本義の透徹にはまづ敬神崇祖觀念の涵養からと平北道では各戶の大麻奉齋普及化と共に邑面に神明神祠の奉建を奬勵しつゝあるがこれに呼應して最近神祠の御造營出願は著しく增加し目下道で受付けてゐる數だけでも十六件に達してゐる、道内の現在數は神社四社、神祠四十三祠であるが道としては各郡に神社一社、各面に神祠一祠を實現させる意氣込みであり同時にすでに建立された神社、神祠のうちにも境内の荒廢を濟すが如き維持上遺憾な點も多々見受けられるので神域の清淨美化を地方民の勤勞奉仕によつて實施する筈である

愛國生命

湯川水原高農校長講演

【外金剛にて永井特派員發】湯川水原高等農林學校長は山田教授を伴ひ廿二日午後七時外金剛溫井里到着、直ちに幹部學生錬成所を訪れ同夜所員と共に天幕生活に入り學生を激勵した上天幕に一泊、二十三日は"錬雜について"と題し諸案法教授のあとをうけて一時間專門的講義を行つた

京城高商敗る
全國高商劍道大會

【東京電話】第六回全國高商劍道大會は二十四日から東京商大で擧行、豫選成績朝鮮關係の分左の如し

高松　七―二　京城

病氣も癒せぬ
醫者不足に惱む米

【ブエノスアイレス廿三日同盟】參戰以來すでに七ケ月を經たアメリカではあらゆるものが戰時色一色に塗り潰されてゐるが、アメリカ醫學界でも御多分に洩れず目ぼしい新人は軍需工業方面に吸收されてをり、醫師志望者が激減した結果、民間の醫者不足に悩み拔いてゐる

戰爭で軍醫の數が如何に膨脹したかを見ると、一九四〇年までは軍醫わづか一千二百三十名を有するに過ぎなかつたが、一九四一年アメリカ軍は百四十萬に增强されるや軍醫の數も一躍九千名以上に增加して、今年中にはさらに三萬名を增す豫定で、戰爭終了するまでにはおよそ五萬名の軍醫を配屬するとアメリカ當局は豪語してゐるが、その言はきはめて怪しいものだ

昨年軍醫總監ゼームス・マツキがアメリカ醫學界の大會席上發表した數字を見ても、現在すでに不足のところへ死亡および隱退者を差引くと今年の醫師增加數は一千二百名に過ぎず、また今年新規開業者およそ五千名のうち軍務に適するものはその六割乃至六割五分に過ぎない、かゝる窮狀では五萬はおろか三萬の軍醫を揃へることは容易ならぬ難事業で當局もこれには當初から苦勞を重ねてゐる譯だ、この點でルーズベルト發案のもとに實施された醫師登錄制はある程度の成績を擧げてゐると傳へられるが、實際問題として軍當局に軍醫を徴集する場合に誰を選擇するかといふことは問題で、特に種々不平不滿も起つて來るといふ實情である、また軍隊と同樣軍需工業方面にも醫者の必要が急激に增大しつゝあるのであれやこれやでアメリカ醫師會は四苦八苦の態である

特別軍事郵便機バタビヤ着

【バタビヤ廿三日同盟】南方の兵隊さんたちが待ちわびてゐた特急軍事往復葉書〇〇枚を積んだ第一回特別軍事郵便機が廿三日正午バタビヤ着、早速各部隊に配布され大喜びに湧返へらせた、同機は〇〇日思ひ〳〵の現地便りを、またどつさり積込んで三千浬の大海原を一飛びに故國へ引かへすことになつてゐる、今後定期的に月四回づつ内地と現地を連絡するといふので人氣はとても素晴しい

比島で無電機の製造禁止

【マニラ二十四日同盟】比島方面軍當局では今回軍令をもつて比島内における無電機械の製造を禁止した、これは無電を利用して非合法的通信が行はれたり、または反日的なラジオ放送の行はれる傾向を防止するためであるが、軍當局はこの目的のため現在市中に販賣されてゐるラジオ乃至は無線電信機械はすべて強制的に買上げることになつてゐる、しかしてこれに適応したものは檢閲に附されるが、ラジオ受信機の修理や部分品の販賣は今後も許されることになつてゐる

東亞教育者大會終る

【新京二十四日同盟】東亞教育者大會第三日の二十日は教育行政、政治教育、言語教育、科學技術教育、初等教育の五部會を開催、熱心な討議を重ね、正午すぎ終了、午後閉會式を擧行、三日間にわたる會議は多大の成果を收めて閉幕した

波田總長金剛山へ

波田聯盟事務局總長は目下錬成の學校聯盟幹部講習會を視察のため廿五日午後三時五十五分京城驛發金剛山へ、二十八日歸城の豫定

小磯總督から五千圓
颱風の臺灣へ

去る十一日台灣を襲つた颱風による被害を同情した小磯總督はこのほど金五千円を罹災者救濟資金の一部にと長谷川台灣總督宛送付した

第二回決算報告書
昭和十七年五月三十一日現在
朝鮮金物販賣株式會社
昭和十七年六月三十日

商業登記公告
京城地方法院

夕刊 京城日報

三時間に亘る重慶大爆撃

大東亞戰爭勃發以來初の强襲

敵の軍事中樞に巨彈

三航空機製作所を粉碎

【上海特電】（廿三日發）重慶來電によれば、日本軍航空部隊は廿二日、大東亞戰爭勃發以來初の重慶爆擊を決行、約三時間に亘り重慶市内の軍事施設を徹底的に爆碎した、同爆擊により重慶國防最高委員會直屬の三航空機製作所は完全に粉碎され、飛行場に待避中の一機は我巨彈を浴て炎上破壞された

南部戰線

樞軸軍ロストフ市外に達す

ドネツ鐵道をも猛攻

【ベルリン特電】（廿三日發）ドイツ軍司令部發表によれば、南部戰線のドイツ軍及びその聯合軍は廿二日强力なるソ聯軍の防禦線を突破しロストフ市外に達した、連絡線を切斷されたソ聯軍の殲滅は必至となつた、更に他のドイツ軍部隊はドネツ鐵道に對し猛攻を加へてゐる、又中部戰區のドイツ軍は第十八騎兵師團長を含むソ聯將兵多數を捕虜とした

【ベルリン廿三日同盟】デー・エヌ・ベー通信が獨軍筋から入手情報によれば南部戰線の獨軍機甲部隊は今や至るところで赤軍防衛線を突破してその背後に出でつゝあり、赤軍は支離滅裂に陷らんとしてゐる、ロストフ周邊の赤軍突出陣地突破に成功し續々ロストフ市の郊外に進出しつゝある、なほ南部戰線の後退の餘儀なきに至つてをり、兩都市陷落は最早全く時日の問題とみられるに至つた、この方面の戰況を綜合すれば次の通り

一、モスコー情報によれば、獨ソ兩軍はロストフ北東四十キロのノボチエルカスクで激戰中と言はれるが、ビシー情報によれば獨軍はロストフ市外四キロの主力防衛線に殺到附近の數地點において深い楔を打込んだと言はれる、他方新陣地に據つて抗戰を續ける赤軍一部隊は獨軍の果敢な急進擊によつて主力との連絡を斷たれ完全に殲滅された模樣である、

一、他の獨軍は長驅ロストフとスターリングラードの中間のツイムリンスカヤ地區に進出赤軍との間に死鬪を展開中で赤軍機關紙『赤い星』紙前線特電も獨軍がツイムリンスカヤ地區に大砲兵團および戰車團を集中南進、突破路の打開に全力を擧げてゐる旨報じてゐる、

一、獨側情報によればドイツ急降下爆擊機編隊は間斷なくドン河口南部のソ聯軍事施設に猛爆を加へロストフ方面の赤軍の退路遮斷につとめてゐる

ソ聯戰況發表

【モスコー二十三日同盟】ソ聯情報局二十三日發表＝赤軍はボロネジ、ツイミリヤンスク、ノボチエルカスクおよびロストフの各地で獨軍と激烈な戰鬪を交へた

獨軍、スターリングラードへ猛進擊

【ブエノスアイレス特電】（二十三日發）スターリングラードに對するドイツ軍攻擊は益々快速調を以て進められてゐるが、先鋒部隊は既にスターリングラードより百廿キロのラストピンスクに達した、ミレボロ附近のソ聯軍は優勢なドイツ軍に包圍され危機に陷つてをり、ノボテルカスクではソ聯軍は頑强に抵抗を續けてゐる

【リスボン二十三日同盟】ロイター通信モスコー電によれば、獨軍先遣部隊はロストフ、スターリングラードから略等距離のドン河左岸チムリンスカヤに進出したと報じてゐる

赤軍總崩れか

ソ聯紙 悲痛な叫び

【リスボン二十三日同盟】エーピーモスコー電によれば、戰車大部隊を先頭とするドイツ軍機甲部隊が詩進擊にロストフ周邊ならびにスターリングラードへ通ずるドン河彎曲地帶の赤軍は今や總崩れの態勢になり、ソ聯側でも南部戰線が現在最大の危機に直面してゐる事實を認めてゐる模樣である、赤軍機關紙赤い星紙の社說は「今や一週間前に負傷したばかりの兵士が戰ふソ聯國民はすべて昨冬モスコー防衞戰に示した以上の勇氣を出すべきだ、なほモスコー情報によれば、ドイツ軍はロストフ、スターリングラード作戰を企圖し、大部隊の戰車、歩兵、砲兵よりなる獨軍の攻勢は熾烈の度を加へソ聯は獨ソ開戰以來最大の危機に直面するに至つた、赤軍は近代戰の各兵を總動員して死力を盡して防戰につとめてゐるが、獨軍の猛攻をうけて押し押しに押されてゐる

獨軍の攻擊愈よ熾烈

【リスボン廿三日同盟】諸情報を綜合するに獨軍のロストフ、スターリングラード攻略戰は廿二日夜…

對ソ國境一部閉鎖

土、赤軍侵入企圖に萬全策

【ベルリン二十三日同盟】デー・エヌ・ベーが『海外よりの情報』として傳へるところによれば、トルコ政府は突如ソ聯との國境の一部を閉鎖したといはれる、當地政界では右措置は東部戰線南部地區におけるソ聯軍が戰局の推移如何によつてはトルコ領内侵入を企圖するおそれあるところからとられた萬全の策であり、東部戰線將來の發展に對するトルコの決意の程を示すものとしても注目されてゐる

畑總司令官 蒙疆方面軍狀視察

【南京廿四日同盟】支那派遣軍報道部發表＝支那派遣軍總司令官は去る十七日以來主として蒙疆方面の戰狀を視察中のところ、廿三日南京に歸還せり

【北京廿四日同盟】支那方面派遣軍總司令官畑俊六大將は十七日午後北京西郊飛行場着、岡村北支軍最高指揮官と懇談、同夜は北京に一泊、十八日午前西郊飛行場發張家口に赴き十九日包頭、廿日厚和、廿一日大同をそれぐ視察第一線將士を激勵、廿二日濟南に至り廿三日午前濟南發空路南京へ歸還した【寫眞＝畑總司令官】

半島產業の自主體制確立へ

動力部門の再編成

明年度を期し大轉換

農村機構の再編成に並行して小磯總督が產業政策として揭げる半島產業の自主體制確立に基本となる動力部門の再編成については目下殖產局の手により檢討されつつあり十八年度を期して大轉換を遂げることとなつた

電力部門

既ち半島における國土計畫においてまた產業立地條件の基礎として鑛と鐵の兩面から最も優越する電力部門については昭和六年に十ケ年を目標とせる第一次電力統制大綱を樹立、發電自由開發、配電民營、送電國營の形態に從ひ現在の段階に到達、投下總資本六億円、內國有財產約七千萬円に及びさらに戰時下に彪大な投資が續けられてゐるが發送電の設立によつてそれぞれ統制段階を飛躍せしめ、內地また日本發送電の設立、滿洲國の電力統制、さらに大東亞共榮圈の大構想を負荷した大東亞戰の進行があり、これらの機構を反映した鮮內の電力產業は現在の鑛工業を推進、先進せしめつつあつたこれまでの速度から加速度的電力需要產業の擴大によつて、も早この過去の第一次統制を以てしては大なる要請を果し得なくなつたのに鑑み小磯新總督はこれを積極的に解決し新方策を樹立せんとする意向を示めるに至つたものである、然し未だその規模の大、從つて影響力が極めて廣く又內容の複雜さによつて具體的細目までには檢討の手が伸びてゐない模樣であるが、少くとも八月末までに原案を得て田中總監がこれを携行して東上、中央關係方面と內折衝し九月末までに統制委員會を開催、急速の法的手續と實行化を進め國境河川開發を除いた全鮮の電力全部門に及ぶ統一會社を最終目標とする發電統制案の一部が少くとも十八年度には實行に移されることが確實視されるに至つた、なほこの根本策と併行する價格面の料金政策は別途として新體制に即應し得る如く明年一月一日を期し、遞減制、最低料金制から基本料金制、業態別料金制へ一大轉換を遂げることとなつた

石炭部門

一方石炭については未だ白紙の狀態においてさ檢討をみつゝあるが、これまた最終的方向の決定が急がれてをり近く何らかの形態を採ることになるうが、かくて石炭部門の統制はやゝ電力統制に比し明確を缺きつつ遲れをみせて來るが、これまた十八年度には一大轉換を實行することにならう

かくして電氣機構の新編成に伴ふ動力行政一元化の機運とともに半島の動力產業は完全な再編成への一大再發足をみることとなるべく成行は注目される

無駄を減らして貯金を殖やせ

委員も增員

◇…上瀧殖產局長談

上瀧殖產局長は右に關し次の如く語つた【寫眞＝上瀧殖產局長】

電力統制の新構想については未だ成案の形を採つてゐない、日窒赴戰江發電所、同興南工場との配電既得權問題、開發途上の江界、禿魯江、南水その他をいかにするか、發送電線の統合範圍を十五萬四千ボルト以上とするか、六萬六千ボルトまでも入れるか、新會社への政府出資をどうするか、一次二次と漸進的に統合を進めるか、急進的に行くか等については總督、總監、殖產局の最高方策に俟たねばならない、然し九月末には委員會を開き手續を進め得ると思ふ、委員數は豫算上十五名であるが廿名以上に增員したい、これは內地側においても企畫院、遞信省、拓務省、學識者、日發等關係有力方面から委員を出して貰ふ積りだからである、範圍についても發送電のみでなく配電部門にも觸れて來よう、料金は一月一日附で基本料金制、業態別料金制に轉換することとして目下調査研究中である、然し特殊料金及び發送配各電力業者相互間の取引料金は有效である、業態別料金制によつて不要不急の一般民需が引上をみることは全般的立場から已むを得ないものであらう、石炭については目下これをいかにするか檢討中である、價格については何らかの形で補償しなくてはならないと思つてゐるが、これをさらに根本的生產、配給、消費の各部門別統制についても考慮してゐるから近く何らかの方向を見出すことにならう、動力產業としての全般的綜合的推進についても考へてゐるが、未だそれらの形には觸れられない

鼻の惡い人は

―必ず頭が惡い―

◉手輕に治したい方へ 無代進呈

鼻が詰る人、年中鼻汁が出る人、頭が重く人、頭が常に重く鼻痛を訴える人、物の香ひの判らぬ人、不眠症の人、物忘れ勝ちな人、物忘れの甚だしい人、蓄膿症、肥厚性鼻炎等鼻の病でお困りの方は醫學ドクトル新發明の最新の治療法を書一冊下さい。鼻病の治療にはどんな療法が一番よいか、鼻病の見分け方治し方、鼻腔明快の秘訣等懇切叮嚀に說かれてあります。希望者はハガキで「京城日報」で見たと記入し京城府本町四丁目ミナト藥局へ御申込下さい。無代進呈致します。（電話…）

戰況

獨伊軍に有利

エル・アラメイン地區で激戰

【ローマ二十三日同盟】イタリー軍發表によれば、北阿樞軸軍は二十二日再びエル・アラメイン地區で英軍に對し攻擊を開始、目下激戰中であるが、戰勝は樞軸軍に有利に展開しつつある

クイビシエフに空襲警報

【リスボン廿三日同盟】當地に達したドイツ前線情報によればソ聯臨時首都クイビシエフでは廿二日拂曉午前二時から二時間にわたり最初の空襲警報が發せられ、さらに午前九時には第二回目の警報が鳴り響いた

伊軍、ジヤラブブ奪還

【ローマ二十三日同盟】北阿戰線で激戰をつづけるイタリー軍は、アレキサンドリヤ進擊の部隊とは別個の別働隊により、リビヤ奧地方面に進出、エジプトとの國境線の要衝ジヤラブブを攻擊遂にその奪還に成功した

綠川、高羽兩大佐 少將に進級

【東京電話】陸軍省發表（七月二十四日）今般左の如く發令せられたり

任陸軍少將（各通）

陸軍大佐 綠川 忠治

同 高羽 廉二

廿四日陸軍省より進級發表された綠川少將（七月十三日付）は滿洲で傷病死、高羽少將（七月十一日付）は北支で戰死したものである

英印問題 蔣の絕望深刻

【上海特電】去る十四日ワルダで開かれた印度國民會議派運用委員會が英國權力の印度よりの撤退と印度人による臨時政府樹立を要求せる決議を採擇して以來、英國のこれに對する態度は極めて消極的で利害關係を有する重慶政權を少からず失望させてゐるが、浙江作戰以來滇緬をはじめ物資調達のルート杜絕後はたとひ二路から目緊要度でも印度方面からのルートを絕みにせざるを得ない蔣介石はたまりかねて左の如く印度問題に對する英國への不滿を露骨に示してゐる

英、印問題は一進一退でクリップスの訪印はかへつて事態を惡化せしめた、これ等の陰謀は英國のみならず同盟國全體の失策である、印度國民大會常務委員會で通過したガンヂー案は新局面を展開し各方面とも非常に不安にかられてゐる、吾々は英國人に同情を持たぬものではないが、印度が樞軸側に賴ることを考へると非常なる絕望感を抱かざるを得ない

戰ひ終つて歸還した海鷲 牧島海軍報道班員撮影＝海軍省許可濟第五七一號（電送）

周恩來

中共を離脫か

【上海廿三日同盟】西安事變以來國共合作の大立物として抗戰指揮に重要役割を演じた周恩來は爾來駐渝代表として過去四年半にわたり幾度か國共兩黨の危機に際し居仲斡旋に努めて來たが、最近延安において中共最高幹部會議が彼の黨籍を除名したとの風說がしきりに喧傳されてゐるが、現在當地政界では蔣介石對周恩來關係には後者の國民黨への歸參條件に「一、周を黨部の團長に周の妻鄧穎超を全國婦女慰勞總會（會長宋美齡）の副會長に任命する 二、周夫妻および同派分子活動費として總額二百五十萬元を支給する、その項目につき諒解が成立してゐる」旨取沙汰されてゐる、もつとも中共最高幹部會議が延安において周の黨籍剝脫決議を行つた事實はないが、中共代表としての周恩來の親國民黨的態度は黨內においてしばしば物議を釀しすでに過去七年近く周の中共代表としての資格を事實上停止され董必武がこれに代つてゐるほどである、その上最近周夫妻が中共中央部再三の招電にもかゝはらず種々口實を設け延安における幹部會議への出席を拒否するに及んで俄然幹部連に疑惑を深め延いては反黨の罪名を被せられるに至つたものである、しかしながら毛澤東などの中共最高幹部は周恩來に對する處分は黨內の不統一を暴露する虞れあるため周の重慶寢切り問題につき確證を握つた後斷乎たる措置に出るべく目下證據固めに苦心してゐる、他方重慶政界において蔣介石が周恩來に對しその中共黨籍離脫後における重慶側條件を提案してゐることは公然の祕密なので中共中央部の周恩來黨籍剝奪決議となるか、それとも周恩來の事前における脫黨聲明となるかが注目される

米の面目丸潰れ

亞、汎米ブロック離脫 中南米諸國に影響せん

【東京電話】南米アルゼンチンが突如汎米ブロック離脫の重大聲明を發表して、さなきだに中南米問題で手を燒いてゐた米國を啞然たらしめた、かくて米國の對アルゼンチン策動は遂に一敗地に塗れたわけである、アルゼンチンとチリーが米國の主唱する對樞軸斷交案に敢然として反對したのは去る一月のリオにおける汎米外相會議であつた、この二國の反對のため汎米の足並は揃はずこれに憤つた米國は好餌をもつてこれを弄絡せんとしたが果さず、次には恫喝政策によつてアルゼンチンをして强壓的に對樞軸斷交を承諾せしめんとした、去る十五日逝去したオルティス前アルゼンチン大統領は從來親米派と目されてゐたが、一昨年頃から眼病のためアルゼンチンの實權はカスチヨ副大統領の掌中にあつたのである

カスチヨ氏は同國の農民代表の古强者で、米國の南米諸國に對する傳統的强壓政策にはかねてから强い反感を抱いてゐたので、これがため米國はオルティス大統領の眼を癒してカスチヨ副大統領を牽制せんとしわざわざ米國から眼病專門醫を派遣して手術騷ぎまで起したが眼は依然としてよくならず去る六月廿三日オルティス氏は正式に辭表を提出した、同國憲法によりカスチヨ副大統領は正式に大統領の地位に立ちこゝにアルゼンチンの態度は完全に米側の不利な立場となつた、狼狽した米國はアーマー駐亞公使をして脅迫的言辭を弄せしめたがカスチヨ大統領はかゝる恫喝に動せず、かへつてアーマー公使はカスチヨに一喝を喰ひ遂に這々の態でワシントンに引揚げてしまつたのである、この間にアルゼンチン船舶のアメリカ大西洋沿岸での撃沈事件などが起つたがドイツ側の公正なる處置により獨亞間には完全な諒解が成立しアメリカ側はいよいよアルゼンチンから手を引くの已むなきに至つたのである

かかる情勢の下に今回のアルゼンチンの斷乎たる聲明となつたものであるがアルゼンチンの投じた一石はたゞにアメリカの面目失墜のみならず、米國の壓迫によつて已むなく心にもない斷交をした他の中南米諸國に對する心理的影響は甚大である

カリー特使 蔣と會見

【廣東廿二日同盟】重慶來電によれば、去る廿日再度重慶入りをしたルーズベルト大統領の特使カリーは廿一日午後蔣介石と會見、ルーズベルト大統領の援蔣內意を傳へるとゝもに戰時下アメリカ本國の國內情勢を報告した、右會見に關し重慶スポークスマンは對米要求のうちもつとも重要なものは航空機提供であるとなし孤立抗戰の泥沼に喘ぐ蔣の援蔣督促振りを左の如く語つてゐる

支那はアメリカに要求する多くのリストを有してゐるが、そのうちもつとも重要にして急を要するものは輸送用飛行機であり輸送機は少くとも現在の二倍は欲しい

なほこれに關聯して重慶のガソリン不足を率直に表明し『ガソリンの缺乏は重慶にとつてもつとも緊迫した問題の一つであり、目下對策を研究中であるか、焦眉の急に迫られた重大問題である』と述べてゐる

―人―

◇小倉武之助氏（南鮮社長）東上中の處廿三日〃あかつき〃で歸城

◇鹽田正洪氏（總督府企畫部長）東上中のところ廿四日午前七時四十分着列車で歸任

◇椎名義雄氏（滿蒙毛織社長）廿五日十二時五十五分着入城

時の錄音

大東亞建設の鑛工業、金融財政の審申決定。地域的建設と綜合建設は進む。

×

雄渾なるこの大經綸の中核推進體を日本內地に置いた、指導力の强化は注目に値する。

×

亞國外相の對米宣言は溜飮三斗の思ひだ、中南米諸國への一大警鐘である。

×

同時に世界新秩序建設への外側的推進役割を行つてゐる點、見逃してはならぬ。

×

樞軸國の理想と實踐は、かくして漸次世界の群小國家の蒙を啓くであらう。

×

半島農業政策は擴充の聲が傳へられる。計畫は雄大に然も實踐效第一たるを要す。

×

咸南一警官の至誠、遂に自然を克服す。

×

警察魂の活模範こゝにあり。